



# 学校だより

令和8年 5月1日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

## 「雨の多い連休となりそうですが、5月、村山は本格的に始動します。」

4月23日(木)、村山特別支援学校の本校舎建設の工事業者との定例会議に出席いたしました。この4月から、本校舎建設に向けた定期的な会議が、改築工事現場事務所にて始まります。

この日は、あいにくの雨模様でしたが、「本校舎建設がこれから始まるな」、という思いで、これからは、じっくり工事の状況を見て、聞いていこうと思っています。現時点では敷地は整備され、地盤の確認等がなされています。少しずつですが、動き始めています。



### 【令和8年度もスクールカウンセラーが配置されます。】

昨年度から本校にスクールカウンセラーが配置となり、令和8年度も引き続き、本校では毎週金曜日に在籍します。児童・生徒、教職員はもとより保護者の方からの御相談もお受けいたします。通常は職員室に席を設け、本校の教職員が気軽に話ができるようにしています。プライバシーに関する相談については教育相談室に衝立も用意し、じっくりとお話しできるようにしています。



東京都では学校に配置されたスクールカウンセラーが、小学部5年生、中学部1年生、高等部1年生の児童・生徒全員と面接を行うことになっています。村山特別支援学校の「チーム村山」の一員として「つなぐ」「和らげる」「深める」というスクールカウンセラーとして力強い味方です。よろしくお願いいたします。

### 【年度始めの全校保護者会、御参加ありがとうございました。】

令和8年度から、本校の教育目標を次の四本の柱といたしました。現行の学習指導要領や昨今の教育に関する答申等の趣旨を踏まえ、平成8年以来30年振りの改訂となります。

#### ①【たくましく生きる力】

健やかな体を育み、自らの個性や能力を伸ばすとともに未来を切り拓き、**たくましく生きる力**を育成する。

#### ②【学ぶ力・考える力】

基本的な生活習慣を確立していくとともに、将来への希望をもって、自ら、**学ぶ力・考える力**を育成する。

#### ③【豊かな心】

他者との関わりを大切に、一人一人が幸せや生きがいを感じるとともに、思いやりと共感に満ちた**豊かな心**を育成する。

#### ④【社会性と協働】

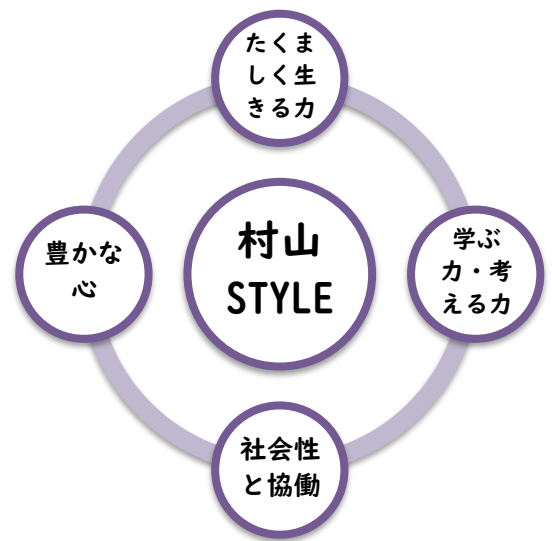
生命や人権を尊重し、学校や地域とのつながりを大切にして、主体的に**社会の形成に参画できる社会性**を育成する。

四本の柱とした本校の学校教育目標を達成するために、教職員の総意の下、児童・生徒、教職員が共に学びを深める姿勢をもち目指す学校像を「一人一人のよさや可能性を伸長するため、児童・生徒も教職員も学びを深める学校」として実現に向けて取り組んでまいります。

村山特別支援学校は隣接する東京小児病院と連携しながら長年、医療的ケア体制に実績のある肢体不自由単独校として専門性の高い教育を行ってきました。今年度は、開校53年目を迎え、肢体不自由養護学校の時代から医療的ケアの体制整備や、充実に長年貢献してきた実績のある特別支援学校としての土台をしっかりと固め、学習指導要領に準拠し、根拠に基づく専門性の高い「村山STYLE」の教育を構築して外部に発信していきます。

今年度は、関東P連東京大会主管校として、関東甲越ブロックのPTAを取りまとめて、東京大会を成功させる。という大きな任務も背負っています。

児童・生徒、教職員、保護者、と共に「都立村山特別支援学校」の4つの柱をしっかりと根付かせて、外部に向けて分かりやすく発信していけるように整えていきます。



**ホームページに学校経営計画を全文掲載しています。**

掲載してある、数値目標達成に向けて、丁寧に児童・生徒と向き合って「考えて、学びを深める」ことに取り組んでいきます。保護者の皆様も、御理解と御協力をお願いいたします。

### 【個別指導計画について説明いたします】

5月連休明けから個別面談が始まります。今年度も、各教科の授業について年間指導計画を立て、個別最適化を目指し、個に応じた細やかな対応をすべく個別指導計画は、保護者には「真に学ぶ内容の充実を提示すること」としています。

お子様の今年度の**目標（ねらい）**を**3観点**で明らかにして、課題、付きたい力、それに向けての実態に応じた学習内容、その学習内容を行うための手だてについて説明をいたします。授業を進めていく上での児童・生徒の**3観点の目標**に応じた、これからの**3観点の学習評価**について担当が説明いたします。保護者の皆様には、提示した個別指導計画について、御質問いただくなど授業改善にぜひ積極的に関わっていただきたいと考えています。教職員が、児童・生徒の考える力をどう引き出ししていけるのか、ぜひ保護者の皆様も、支援者として御協力いただきますようお願いいたします。

### 【学習を評価するということとは？】

現行の学習指導要領では、子供たちに身に付けてほしい力を「**育成を目指す3つの資質・能力**」と表現しています。次の「**3つの資質・能力**」です。①②が身に付くと、③が豊かになるという考え方です。

**個別指導計画の3つの目標（ねらい）、評価の3観点**について今年度も、さらに研修し、検討をしてまいります。

**① 知識及び技能      ② 思考力、判断力、表現力等      ③ 学びに向かう力、人間性等**

育てたい3つの資質・能力 目標(ねらい)	評価の3観点 (評価規準)	具体的には
① 知識及び技能	① 知識・技能	何を、学ぶのか。学習に必要な知識や技能を身に付けること。
② 思考力、判断力、表現力等	② 思考・判断・表現	どのように学ぶのか。身に付けた知識や技能を使って、考え、判断し合い、表現したりすること。
③ <b>学びに向かう力、人間性等</b>	③ <b>主体的に学習に取り組む態度</b>	身に付けたことや学んだことを授業中に、または生活の中でさらに挑戦して、学びを深めていくこと。

校長 阿部 智子